平成 26 年度

八代市議会文教福祉委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 所管事務調査 1

平成 27 年 1 月 28 日（水曜日）

文教福祉委員会会議録

平成27年1月28日 水曜日

午前9時00分開議

午後3時01分閉議（実時間17分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・保健・福祉に関する諸問題の調査
（こどもプラザすくすく、こどもプラザわくわく（管内調査））
- ・教育に関する諸問題の調査
（八代市中部学校給食センター、八代市立八千把小学校浜分校、八代市立金剛小学校敷川内分校、八代市立鏡西部小学校（管内調査））

○本日の会議に出席した者

委員長	中村和美君
副委員長	西濱和博君
委員	友枝和明君
委員	橋本隆一君
委員	堀徹男君
委員	堀口晃君
委員	村川清則君
委員	百田隆君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

教育部長	北岡博君
教育部次長	増住眞也君
健康福祉部長兼 福祉事務所長	上田淑哉君

○記録担当書記 小川孝浩君

（午前9時00分 開会）

○委員長（中村和美君） それでは、定刻となり定足数に達しておりますので、ただいまから文教福祉委員会を開会いたします。

本日は、当委員会の所管事務調査であります教育に関する諸問題の調査、保健・福祉に関する諸問題の調査の2件を議題とし、教育部及び健康福祉部所管施設についての管内調査を行うこととしております。

◎所管事務調査

- ・保健・福祉に関する諸問題の調査（こどもプラザすくすく、こどもプラザわくわく（管内調査））
- ・教育に関する諸問題の調査（八代市中部学校給食センター、八代市立八千把小学校浜分校、八代市立金剛小学校敷川内分校、八代市立鏡西部小学校（管内調査））

○委員長（中村和美君） 本日の日程につきましては、お手元に配付しておりますレジュメのとおりでございますが、管内調査の行程につきまして執行部から説明を願います。

○教育部長（北岡博君） はい、委員長。

○委員長（中村和美君） はい、北岡教育部長。

○教育部長（北岡博君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）教育部、北岡でございます。本日は大変お世話になります。よろしく願いいたします。

行程の説明につきまして、座って説明をさせていただきますことをお許しいただきたいと思えます。

○委員長（中村和美君） はい、どうぞ。

○教育部長（北岡博君） 本日の管内調査で調査をお願いいたします施設は、健康福祉部所管の2施設と教育部所管の4施設ということでございます。

行程といたしましては資料にも記載をしておりますが、まず、鏡西部小学校の状況を35

分程度視察いただき、次に、八千把小学校浜分校を20分程度、その次に、イオン八代ショッピングセンター内にありますこどもプラザわくわくを30分程度視察していただきました後に、島田町にあります公益財団法人学校給食会の中中部学校給食センターを視察いただきます。ここでは、給食の試食や休憩等も含めまして60分程度を予定しております。

午後からは、マックスバリュ八代店内にありますこどもプラザすくすくを30分程度視察していただきました後に、金剛小学校敷川内分校を20分程度視察していただく予定としております。

その後、帰庁いたしまして質疑、御意見等いただくという行程としておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（中村和美君） はい。ただいまの行程につきまして質問はありませんか。

○委員（西濱和博君） 委員長、よろしいですか。

○委員長（中村和美君） はい、西濱副委員長。

○委員（西濱和博君） はい。念のため確認なんですけれども、手元の資料で西部小学校の時間が私ども9時35分から10時10分というふうに記載がありますが、今、35分間の時間でよろしゅうございますんですかね。（教育部長北岡博君「はい」と呼ぶ）あの、ほかの小学校、浜分校とか20分程度ですけど、西部だけはこれくらい時間とってあるということ、認識でよろしいですか。（教育部長北岡博君「はい。あの、浜分校と……」と呼ぶ）

○委員長（中村和美君） はい、ええ……。

○教育部長（北岡 博君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、北岡部長。教育部長。

○教育部長（北岡 博君） はい。浜分校と敷川内分校は児童数も少なく施設自体も狭いということですが、鏡西部小学校は施設等

も広うございますので、その点も含めまして少し時間を長くということと考えているところがございます。

○委員（西濱和博君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、西濱副委員長。

○委員（西濱和博君） はい。理解できました。ありがとうございました。

○委員長（中村和美君） はい。ほかありませんか。

○委員（堀口 晃君） 委員長。

○委員長（中村和美君） はい、堀口委員。

○委員（堀口 晃君） 今のところをきょう視察するわけなんですけれども、資料として写真等は別に問題ないのかなってというような、その疑問があつて。

○教育部長（北岡 博君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、北岡教育部長。

○教育部長（北岡 博君） はい。ちょっと、こどもプラザすくすくの——こどもプラザの場合はちょっと、私どもの所管ではございませんけれども、学校のところで言いますと写真等は結構だと思います。ただ、広報と言いますか、公にされる場合は子供の肖像権、顔写真とかがですね、いろいろ問題になりますので、そこはお気をつけていただければ。

写真は結構でございます。（委員堀口晃君「はい、わかりました」と呼ぶ）

○委員長（中村和美君） はい、よろしいですか。

○委員（堀口 晃君） はい。

○委員長（中村和美君） はい。ほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（中村和美君） それでは、ちょっと今ありましたけど、上田健康福祉部長もおいででございますが、堀口委員の今の質問いかがでしょうか。

○健康福祉部長兼福祉事務所長（上田淑哉君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、上田健康福祉

部長。

○健康福祉部長兼福祉事務所長（上田淑哉君）

はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）健康福祉部、上田でございます。

ただいまの御質問につきましては、施設内の撮影というのは全然問題はないかと思いますが、ただ、今、部長も申し上げましたように子供のお顔とか保護者のお顔とかいうのになるとちょっと問題になるかと思しますので、どうぞよろしくお願いします。（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（中村和美君） ということでございますので、撮影は結構でございますが気をつけてやっていただきたいと思えます。

ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（中村和美君） ないようであれば、管内調査のためしばらく休憩いたします。

（午前9時05分 休憩）

（午後2時49分 開議）

○委員長（中村和美君） それでは、お疲れ様でございました。休憩前に引き続き文教福祉委員会を再開いたします。

ただいま視察をしてまいりました管内調査につきまして、まずは、教育部所管施設について質疑、御意見等はありませんか。

○委員（西濱和博君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、副委員長、西濱副委員長。

○委員（西濱和博君） はい。教育委員会にお尋ねしたいと思います。

本日、視察先でも話題になりましたが、学校の規模適正化、いわゆる統廃合の事案と、一方では別件にはなりますけれども、学級編制については法律が変わったということで、保護者をお持ちの当事者にとっては学校統廃合問題と学級編制がどうなるか、八代市教育委員会が学級編制をどう扱うか、複式になるか単式になるか

というのが非常に密接な関係があるということは周知のとおりであります。

そこで、私が浜分校の事例でお尋ねした件ですけれども、地域からは複式を回避してもらいたいという要望書が出されていた件について、市当局は12月の教育委員会の定例会において、市の財政事情からすると困難であるという回答を出された。それについて、市当局と協議されたかという私の質問に対して、それは泉の事例でそういう方針が一旦出てるのでそれを準用した旨の御回答だったというふうに思いますが、そうであれば6月に浜分校から複式の件についての要望があった折に、なぜ、12月まで長期に及んで検討期間を設けなければならなかったのか、その理由をお尋ねしたいと思います。

○教育部次長（増住真也君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、増住教育部次長。

○教育部次長（増住真也君） 7月に学校統合等審議会を設立をして、当初の予定ではですね、その中でも協議をしていただきたいということでも事務局として考えておりました。

ただ、その中で複式の解消に当たった問題です、統合等審議会の中で議論するのはおかしいという話になりまして、その回答はされなかった。ですから、事務局のほうでは一応そういうことを考えて、ほかの複式の審議等の御意見をうかがいたいということから、期間をいただきたいということをお願いをしとったところでございます。

しかし、実際的にはそういうことでございましたのでその時点です、地元のほうにはお返しをすべきではなかったかというふうに思っており、その分については非常に反省をいたしております。

以上です。

○委員（西濱和博君） 委員長。

○委員長（中村和美君） はい、西濱副委員長。

○委員（西濱和博君） まさしくそのとおりで

す。古閑浜の地元対話のとき、6月20日地元がその複式について検討をお願いしたいといった要望に対して、教育委員会は審議会の席でそれを審議してもらうというふうな御答弁がありました。しかしながら、私も審議会の議事録を確認したところ早い段階で、もう審議会の議論の対象とはしないということが明確にすみ分けされたところです。

ついては、教育委員会としては地元からそういう要望が上がっていることに対しては、審議の場が教育委員会に差し戻されたわけですから速やかにその旨、経緯も含めて地元におろすべきだったというふうに私は思います。

なぜ、そこまで申し上げるかの理由を今から言いますのでお聞きいただきたいと思います。

複式回避の方法は、一つは市教育委員会がその人数をどう取り扱うかに依拠するところですが、従来県の基準を用いるならば浜分校の場合、現状の見込みとして来年度複式になるであろうというようなことが懸念されておりました。

で、それを回避する方策としてスタンダードなやり方としては、子供の数がふえれば、いわゆる9人以上になるからオーケーだというふうな考え方がありますが、実は保護者の中で、もう一つそれをクリアする方策があるということ踏み込んでお考えでした。それはどういうことかということ、私たちの常識からは到底思いははせることができませんけれども、自分たちの子供を別の学校にやれば複式にはならないではないかと、そこまでですね、思い悩んでいらっしまったわけでございます。そのことは、教育委員会にも伝えておられました。

しかしながら、審議会での協議が継続しているというような状況のまま、地元のほうは受けとめていらっしまったものですから12月まで待たれたという、結果的にそうってしまったわけです。

思い返せば、もっとそれを早くおっしゃられ

ればですね、その当事者たちの人生設計、これから先、古閑浜に住居を置いて生活するか古閑浜に出すか、それとも転校してほかの学校に出すかということを考えるいとまがあったんですけども、それが12月まで延ばされたということで、あとここ数カ月でそのことにどう対応していくか大変思い悩んでいらっしまったという現状があるという、このことをですね、しっかり御認識いただきたいと思いますが、こういう事態に派生したことについて何かお考え、御感想ありませんでしょうか。

○教育部次長（増住眞也君） 委員長。

○委員長（中村和美君） はい、増住教育部次長。

○教育部次長（増住眞也君） 先ほども申し上げましたとおり、早くお返しすべきだったということで非常に反省をしているところでございます。

以上です。

○委員（西濱和博君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、西濱副委員長。

○委員（西濱和博君） 最後にですけれども、地元から保護者に対して説明をお願いしますという御要望がっておりますが、その件については教育委員会、対応するというところでお返事がっております。

そのことについては、現状どのような状況でございませうでしょうか。

○教育部次長（増住眞也君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、増住教育部次長。

○教育部次長（増住眞也君） 複式の説明のすかね、につきましては2月の頭に学校を通じまして保護者の方に複式の説明をするということで準備をしておるところでございます。

○委員（西濱和博君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、西濱副委員長。

○委員（西濱和博君） はい。これからのお取り組み承知しました。

十分ですね、今申し上げたこともですね、念頭に置いて当事者である保護者に対してはですね、複式の問題、まあ統廃合のことにも及ぶかもしれませんが、ぜひ時間をかけて丁寧ですね、御対応をいただきたいというふうに思いますし、曖昧なまま推移しないようにぜひとも明確ですね、姿勢を、それから御対応をお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長(中村和美君) ほか、ありませんか。

○委員(堀口 晃君) はい、委員長。

○委員長(中村和美君) はい、堀口委員。

○委員(堀口 晃君) 今、副委員長のお話と非常にかぶるところなんです、今、私も3つ回ってきてこの統廃合というか学校規模の適正化についてですね、今、お話を聞かせていただいて見てきたところなんですけども、その中でやっぱり地域の方々とのコミュニケーション、説明——説明責任と言いますか、答申が出されたならば、今度は教育委員会がある程度主になって今後進めていかないといけないという状況の中において、やっぱり地域、そしてまた保護者の皆さんをないがしろにするわけにはいかない——まあ、やってないというのはもう十分よくわかっていますがそことの、よくよくですね、いろんな形でお話をさせていただきたいというのはこれ要望です。それが1点。

○委員長(中村和美君) いいですか。

○委員(堀口 晃君) もう1点。

○委員長(中村和美君) はい、どうぞ。

○委員(堀口 晃君) はい。この規模適正化というふうなところにもつながるかどうかわかりませんが、今、古閑浜地域、あその地域には新興住宅街が今あって、そこの件で八代小学校に行くのか、また松高小学校に行くのかというふうな部分で非常に分かれるという部分がある。その中で5年後を見通した時には、やはり松高小学校の教室が足りなくなってくるけんが増室する、増設するというふうな状況があるな

らば、その辺の学校での区割りの部分も一つは見直す必要があるんじゃないかというふうに思うんですけども、それも前、前回お話をさせていただいたんですが、その辺の検討もぜひお願いをしたいというふうに思っておりますので、ぜひお願いいたします。

○委員長(中村和美君) はい。ほかありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(中村和美君) なければ、以上で、教育部所管施設についての質疑、意見を終了します。

次に、健康福祉部所管施設について質疑、御意見等はありませんか。

福祉施設はよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(中村和美君) よろしいですね。

以上で、健康福祉部所管施設についての質疑、意見を終了します。

そのほか当委員会の所管事務調査について何かありませんか。

○委員(西濱和博君) 委員長、よろしいでしょうか。

○委員長(中村和美君) はい、西濱副委員長。

○委員(西濱和博君) はい。少し、ちょっと申しわけないところがあるんですけど、統廃合とは直接関係はございませんけれども、教育委員会の職員さん、きょう御出席でするので関連としてお尋ねしたいことがございます。

改めてこの場で申し上げるまでもないことかと思いますが、各全国の地方自治体には地方交付税措置がなされておりますが、この交付税対象施設には学校関係施設もその対象となっております。例えば、分校だとか小学校統廃合すると、そこに今まで措置されてた交付税が措置されなくなるというようなこととございますけれども、教育委員会とされては、先ほどの複式学級のことについては、教職員の配置の件から財政事情というような財政事情を根拠としたお話もござ

いましたが、統廃合することによってその学校に交付されてた財政措置がどのような形で変化してくるかという、そういう試算だとかはなさっていらっしゃいますでしょうか。

○教育部次長（増住眞也君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、増住教育部次長。

○教育部次長（増住眞也君） しておりません。

○委員（西濱和博君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、西濱副委員長。

○委員（西濱和博君） はい。わかりました。

じゃあ、あの、学校にどれくらい交付税措置がなされてるかとか交付税措置されてる対象が何かということは御承知でいらっしゃいますでしょうか。

○教育部次長（増住眞也君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、増住教育部次長。

○教育部次長（増住眞也君） 知りません。

○委員（西濱和博君） はい。

○委員長（中村和美君） はい、西濱副委員長。

○委員（西濱和博君） はい。財政事情をもってというような御回答をされるに当たってはですね、大前提としてその件は財政部局の話だからということではこれから先なかなか通用しがたいし、市民の理解は得られないというふうに私には——私は思います。

とりわけ、対象となっている学校の地元にもそうでございますので、ぜひとも教育委員会とされましてはですね、財政措置は市長部局のお話かもしれませんが、教育行政を担っていくに当たってはその根拠となる財政措置が、またその財源内訳がどうなるかぐらいはですね、管理職の皆さん、十分承知していただきたいというふうに申し上げたいと思います。

まさに、失礼な言い方かもしれませんが、そもそも論だと思いますのでよろしく御調査のほうをお願いします。

以上です。

委員長（中村和美君） ほか、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（中村和美君） それでは、所管事務調査2件についての調査を終了します。

以上で、本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって、文教福祉委員会を散会いたします。

（午後3時01分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成27年1月28日

文教福祉委員会

委員長